

日本政府による新たな支援パッケージの実施

日本政府は、国連機関および国際基金と協力し、エチオピアを対象とした総額 20.56 億円（約 1,500 万米ドル）の新たな支援パッケージを実施することを決定しました。

日本は、資金的支援及び技術支援を通じて、エチオピアの平和と繁栄に貢献するために最大限努力しており、引き続き対エチオピア支援強化にコミットしていきます。

本支援パッケージは、「人道支援及び開発支援」と「TICAD9^{*1}に向けたエチオピアとの共創プロジェクトへの支援」で構成されています。

①人道支援及び開発支援

本支援の合計額は約 770 万米ドルであり、エチオピアにおける「ハイレベル開発フォーラム」、「人道対応計画」、「回復力強化・復興再建計画（3RF）」で議論された援助ニーズを考慮し、人道支援事業及び開発支援事業を対象としています。これらの支援事業は、UNHCR、WHO、UNDP、UNMAS、IOM、UNFPA、UNIDO、UNOCHA 及び Education Cannot Wait（ECW）と協力して実施されます。

②TICAD9 に向けたエチオピアとの共創プロジェクトへの支援

本支援の合計額は約 730 万米ドルであり、エチオピアの経済的・社会的問題を解決するために日本の技術を活用するプロジェクトを対象としています。これらの支援事業は、エチオピア政府、国際機関（UNICEF、UNFPA、WFP、UNDP、UN-Habitat 及び UNESCO-IICBA）、日本企業及び日本政府が協力して実施される予定です。

支援事業の詳細は別添資料をご参照ください。

^{*1}TICAD9：アフリカ開発会議（Tokyo International Conference on African Development）は、国際連合、国連開発計画（UNDP）、世界銀行及びアフリカ連合委員会（AUC）が共催する日本政府主導の会議です。TICAD9 は、「アフリカと共に革新的な解決策を共創する」というテーマの下、今年 8 月 20 日から 22 日の 3 日間にわたり、アフリカ各国の首脳を日本に迎えて横浜で開催されます。1993 年以来、TICAD は 30 年以上にわたってアフリカとのパートナーシップを提唱するプラットフォームとなっています。

2025 年 2 月 7 日
日本大使館